

# 世界遺産学 学位プログラム 履修ガイド 2022

令和4年4月

筑波大学大学院 人間総合科学学術院 人間総合科学研究群

世界遺産学学位プログラム（博士前期課程・博士後期課程）

Heritage Degree Program, Graduate School of Comprehensive Human Sciences, University of Tsukuba

# まえがき

博士前期課程の世界遺産専攻は、2004年4月に芸術研究科に開設され、その2年後に博士後期課程の世界文化遺産学専攻が人間総合科学研究科に開設されました。どちらの専攻も世界遺産学に関わる基礎研究から先端にまでいたる幅広い専門研究の実績を上げてきました。そして世界遺産学学位プログラムはこれらの前身となる専攻の教育・研究成果を基盤にして、世界遺産学としての学術体系をさらに発展させていく使命をもって2020年4月に発足しました。

本学位プログラム博士前期課程の教育目標は、世界遺産をはじめとする文化遺産や自然遺産の保護と活用に関わる専門家の育成です。世界遺産研究に関わる修士論文の提出により、修士(世界遺産学)を授与します。また博士後期課程の教育目標は、世界遺産の保護と活用の分野における高度な実務専門家、研究者養成を目的としています。博士学位請求論文の審査を得て、博士(世界遺産学)を授与しています。

人類が築き上げた文明の遺産と伝統的な文化の継承、人類の活動と自然との調和的共生は全地球的な課題となっています。世界遺産リストに記載された遺産のみならず、地域の文化と自然は、過去から継承され未来へ託される貴重な財産です。しかし、これらの貴重な財産の一部は、自然災害、戦争や紛争、観光開発、気候変動など、人的・自然的原因により危機に瀕しています。文化遺産・自然遺産は人々の活動と地球規模の環境変化の影響下にあり、その保護と活用を巡る状況は複雑にして解決が難しい問題となっています。

世界遺産学学位プログラムは、専門的知識と技術をもってこうした状況に挑み、内外の専門家、行政担当者、住民等と協力・連携して遺産の望ましい保護と活用を進める人材を育成します。遺産の保護と活用に関わる専門家、研究者になるために必要な学術、技術、制度的知識は多岐にわたりますが、本プログラムでは遺産保護の実務に必要な理念、教養、方法論およびマネジメントの能力取得、および遺産の評価、調査、分析、修復を行なう技術修得を教育目標としています。本プログラムの人材育成が遺産保護という重要な地球的・社会的使命に応え、わが国の国際貢献に寄与するように努めていきたいと考えます。

2022年4月

世界遺産学学位プログラムリーダー  
上北恭史

# 目次

まえがき	2
目次	3
世界遺産学学位プログラム（博士前期課程）	
1. 例言	4
2. 履修方法	4
3. 履修申請の注意事項	5
4. 授業一覧	6
5. 時間割	13
6. 学外の演習・集中講義等	18
7. 全学・他大学院の開設科目について	21
8. 世界遺産学インターンシップ	22
世界遺産学学位プログラム（博士後期課程）	
1. 履修方法	25
2. 履修申請の注意事項	25
3. 授業一覧	26

# 世界遺産学学位プログラム（博士前期課程）

## 1. 例言

この履修ガイドは人間総合科学学術院人間総合科学研究群世界遺産学学位プログラム（博士前期課程）の2022年度の授業の概要を示したものです。履修ガイドとKdb（シラバス）をよく読み、履修計画を立ててください。Kdb（シラバス）の内容は変更する場合がありますので注意してください。

## 2. 履修方法

人間総合科学研究群 世界遺産学学位プログラム（博士前期課程）

### 【履修方法・修了要件】

科目区分	科目群	条件又は科目名等	修得単位数
基礎科目	必修科目	世界遺産論（2単位） 世界遺産特別演習（3単位） 世界遺産特別研究（6単位）	11
専門科目	選択科目	世界遺産学関連科目から19単位以上履修すること（「世界遺産を科学する」等、専門基礎科目を含む）	19～
		修了単位数	30

（修了要件）

2年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履修により所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

※他学術院、他学位プログラム（自然保護サーティフィケートプログラムの科目を含む）、学群の科目は、研究上の必要に応じて、指導教員と学位プログラムリーダーの承認を得て、10単位を限度として修了要件の選択科目として認めることができる。

## 3. 履修申請の注意事項

### (1) 手続き

- 履修申請手続きは、申請期間中に TWINS(<https://twins.tsukuba.ac.jp/>)から行ってください。
- シラバスは Kdb(<https://kdb.tsukuba.ac.jp/>)で公開していますので履修する授業の内容を確認してください。
- 集中講義のうち実施予定日、講師名が未定の講義は KdB に表示されないことがあります。実施予定日、講師名が発表された時点で、改めて申請期間が設定されますので、告知された登録期間中に申請を行ってください。期間中に登録できなかった場合は下記の追加履修申請書を提出の上、履修してください。
- 履修申請を忘れた場合は TWINS の「履修申請変更」から追加履修申請書を出し、体育芸術エリア支援室の大学院教務担当窓口へ提出してください。追加履修申請書には授業担当教員、指導教員、学位プログラムリーダーの 3 名の署名捺印が必要となりますので注意してください。

### (2) 連絡および休学手続き等

- 必要なお知らせは TWINS、メール、および共同研究棟 A・2 階の掲示コーナー(共同研究棟 A2 階 207 号室入口付近)に掲示しますので必ず確認してください。
- 授業に関する知らせは manaba 経由でメールの連絡があります。必ず、リンク先の manaba を開いて確認してください。
- 履修、休学など教務に関する手続きは体育芸術エリア支援室大学院教務（浅野さん）に問い合わせてください。

### (3) 手続きの場所について

- 世界遺産学学位プログラム事務室では履修・単位に関する問い合わせは対応いたしません。体育芸術エリア支援室（5C 棟、大学院教務／浅野さん）までお問い合わせください。
- 世界遺産学学位プログラム事務室は自然保護寄附講座の事務局としても使用していますので間違えないようにしてください。
- 不在の連絡先：office@heritage.tsukuba.ac.jp（伊澤）

# 4. 授業一覧

## 必修科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	英語(日本語)科目名
OATV001	世界遺産論	1	2.0	1・2	春AB	水2,3	人社B218	黒田 乃生, 飯田 義彦, 池田 真利子, 伊藤 弘, 上北 恭史, 下田 一太, 滝沢 誠, 武 正 憲, 野中 勝利, 松井 圭介, 松井 敏也, 八木 春生, 吉田 正人	世界遺産学位プログラムの教員全員の研究内容の紹介。遺産の評価と保存、マネージメントとプランニング、国際協力などについての討論を通じて、研究に必要な基本的視点を確立する。また最新の遺産の保護と活用事例に関する報告、文化遺産・自然遺産保護の現場の訪問を通じて研究の先端に触れる。履修する大学院生は、最も関心を抱いている文化遺産・自然遺産の分野を選び、研究対象となりうる課題について発表することを求められる。	オンライン(同時双方向型)。対面 希望者はオンライン受講可能	World Heritage Studies
OATV002	世界遺産特別演習	2	3.0	1	通年	随時		黒田 乃生, 飯田 義彦, 池田 真利子, 伊藤 弘, 上北 恭史, 下田 一太, 武 正 憲, 松井 敏也, 八木 春生, 吉田 正人	専門書、先行研究の論文の講読等を通して、自らの研究テーマを決定する。論文講読を通じて、論文執筆の基礎を身につけると同時に、研究倫理に関する基礎的な常識を身につける。履修する大学院生は、年2回、演習の中間および最後に、自らの修士研究テーマについて発表することを求められる。	オンライン(同時双方向型)。対面	Special Seminar on World Heritage Studies
OATV003	世界遺産特別研究	2	6.0	2	通年	随時		黒田 乃生, 飯田 義彦, 池田 真利子, 伊藤 弘, 上北 恭史, 下田 一太, 武 正 憲, 松井 敏也, 八木 春生, 吉田 正人	指導教員から修士論文の研究手法について指導を受け、セミナーでの発表、修士論文中間発表を経て、修士論文作成を行い、最終試験において審査を受ける。	オンライン(同時双方向型)。対面	Special Research for World Heritage Studies

## 選択科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	英語(日本語)科目名
OATV101	文化遺産論	1	1.0	1・2	春AB	木3	人社B218	下田 一太	文化遺産の保護について、遺産の概念、保護の理念、日本及び諸外国の保護制度の概要、さらにそれらの現在に至る歴史的経緯の理解を通して、現代社会における役割、その現状と今後について考察する。履修する大学院生は、文化遺産保護の理念と制度を理解するだけでなく、現代社会における文化財保護についてのディスカッションに参加し、意見を述べるようになることが求められる。	新型コロナウイルスの感染状況に応じて、対面かオンライン(オンデマンド型)かを選択する	Cultural Heritage Theory and Policy Studies
OATV102	文化遺産演習	2	2.0	1・2	秋C	集中		黒田 乃生	本演習は世界文化遺産の保護の現状について体験を通じて学ぶことにある。1995年に世界遺産リストに登録された「白川郷五箇山の合掌造り集落」およびその周辺集落において維持管理活動の体験および実際に文化遺産がある地域で生活する関係者、文化財保護の担当者、まちづくりの団体との交流や聞き取りを通して、世界遺産保護の手法を学び、意義および課題について考察する。現地実習の前には現地について学ぶ課題を提出し、実習後には演習で体得した文化遺産保護の課題についてレポートを提出させる。	対面 ※「世界遺産学位プログラム コロナ感染対応 ガイドライン」に従って実施	Seminar for Preservation of Cultural Heritage
OATV103	自然遺産論	1	1.0	1・2	春A	木1,2	人社B218	吉田 正人	自然遺産保全の基礎となる自然保護、生物多様性保全を学ぶとともに、自然遺産と関連する保護地域制度と自然遺産との関連性についても考究する。とりわけ、世界自然遺産の登録基準、世界自然遺産のセーフティネットとしての危機遺産リスト、外来種や気候変動のモニタリング、保護地域のネットワークと国境を超えた世界遺産などの事例を考察する。	01AH410、02J2005と同一。	Natural Heritage Studies
OATV104	自然遺産演習	2	2.0	1・2	夏季休業中	集中		吉田 正人, 武 正 憲	自然遺産地域における現地調査を通じて、自然遺産地域の保全と管理、およびそれに対する地域住民や専門家の参加について学ぶ。自然遺産地域の管理計画、科学委員会・地域連絡会議を通じた専門家、地方自治体、地域住民、NPOなどの役割分担と協働、外来種対策やエコツーリズムなどの事例を現地調査から学ぶ。	8/27-9/1	Seminar on Natural Heritage

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	英語(日本語)科目名
OATV105	宗教論	1	1.0	1・2	秋C	火3,4	人社B218	松井 圭介	近年、注目を集めるようになってきている世界における宗教とツーリズムとの関係をめぐる研究動向を紹介しながら、日本の世界遺産を事例に両者の関係を整理・検討する。とりわけ、世界文化遺産に登録された紀伊山地熊野古道、長崎・雲仙の潜伏キリシタン関連遺産などの事例をもとに、宗教遺産が観光資源として対象化される過程やその問題点を考える。	オンライン(同時双方向型)	Religious Studies
OATV106	無形遺産論	1	1.0	1・2	秋AB	集中	人社B218	池田 真利子	無形遺産の概念、保護の体制、遺産保護の事例を通して、無形遺産への理解を深め、無形遺産が持つ文化的価値について考究する。文化財保護法における無形遺産と、ユネスコ無形文化遺産条約における無形文化遺産の違い、無形文化遺産を保護するための国際的・国内的政策と地域の取り組みについても学ぶ。	非常勤講師(宮田繁幸氏)対面	Intangible Heritage Studies
OATV107	遺産保護行政論	1	1.0	1・2	秋B	集中		下田 一太	日本の遺産保護に関わる政策、行政システムについて理解し、日本の遺産保護制度の体系や保護の方法について理解する。文化庁の遺産保護担当者から、直接、遺産保護に関わる法制度、行政のシステムに加えて、具体的な遺産保護の事例についてその経験を伺い、日本の遺産保護行政の成果と課題について学ぶ。	非常勤講師 オンライン(同時双方向型)	Policy and Administrative Systems for Protection of Heritage
OATV108	世界遺産特別講義	1	1.0	1・2	秋ABC	集中	人社B218	上北 恭史, 吉田 正人	世界文化遺産ないし関連遺産の学際研究及び保存・活用の現状と課題を学ぶ。本授業は、世界文化遺産の保護に長年にわたって携わってこられた専門家を講師に招き、その経験と知識を学ぶ集中講義である。講師は、富士山の世界文化遺産登録に携わった専門家など、世界遺産条約に関して深い経験を持った方を講師として招聘する。		Special Lecture on Heritage Studies
OATV109	世界遺産学インターンシップ	3	3.0	1・2	通年			黒田 乃生, 飯田 義彦, 池田 真利子, 伊藤 弘, 上北 恭史, 下田 一太, 武 正憲, 松井 敏也, 八木 春生, 吉田 正人	遺産の保存と活用に関わる組織や現場において実地研修を行なう。インターンシップ先は、世界遺産保全に関する行政機関、研究所、テレビ局、博物館・美術館など多岐にわたるが、研修先の選択にあたっては、修士論文研究の主題との関連性に留意する。研修機関からの評価をい考慮して、インターンシップの成果を評価する。	その他の実施形態	Internship in the Field of Heritage
OATV110	Global Learning: Heritage, Creativity and Art (グローバルに学ぶヘリテージ、創造性とアート)	4	1.0	1・2	春BC	月5	人社B218	池田 真利子, 上北 恭史, 松井 敏也	本科目は、「Creativity and Art (創造性とアート)」をキーワードとし、ヘリテージ学に関わる文理横断的な学術・学際的研究視点を日本語と外国語で学ぶことにある。そこで、「Designing Heritage Research」のテーマと関連付け、各年の学生/教員の関心や時流に合ったテーマを設定し、当該テーマに関する研究視点や事例、モデル等を学生と議論しながら解説する。 なお2022年度は、ヘリテージ学の「活用」に焦点を当て、地理学(地域空間変容・都市文化・地域フィールド調査)・建築デザイン学(材料・構造・デザイン史・フィールド科学)・保存科学(行政協働・問題解決型科学・科学的調査手法)を中核とし、上述の学域以外の研究者ら(メディア学・建築学・デザイン学等)も交えて、概念・理論から実践的事例まで幅広く紹介し、議論を行う。	一定の基準を設け、履修生数を限定する場合がある。【授業マネジメント室支援科目】 英語で授業。 オンライン(同時双方向型)対面	Global Learning: Heritage, Creativity and Art

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	英語(日本語)科目名
OATV111	Global Project: Designing Heritage Research(グローバルに考究するヘリテージ研究デザイン)	7	2.0	1・2	通年	集中		池田 真利子, 上北 恭史, 松井 敏也	<p>本科目のねらいは、「Creativity and Art (創造性とアート)」で学んだ研究視点や各年設定のテーマに関連し、その研究方法やデータ取得方法を大学/現地フィールドで具体的かつ実践的に学ぶことである。学生は地域調査の基礎を学ぶだけでなく、自ら主体的にフィールド調査に取り組む経験を得ることができる。また、「Global Creativity and Art (創造性とアート)」と連携させることにより、国際的な学術議論を無理なく考えに取り組むことができる。なお2022年度は、ヘリテージ学の「活用」に焦点を当て、地理学(地域空間変容・都市文化・地域フィールド調査)・建築デザイン学(材料・構造・デザイン史・フィールド科学)・保存科学(行政協働・問題解決型科学・科学的調査手法)を中核とし、フレキシブルなチーム(研究・情報メディア記録・提案)に分かれ、地域貢献における発展性を意識した学術的成果へと繋げる。</p> <p>本科目では、専用のタブレット端末・録画機器を最大限活用したグループ学習を行います。</p>	<p>一定の基準を設け、履修生数を限定する場合がある。【学術マネジメント室支援科目】</p> <p>オンライン(同時双方向型)および対面の併用:「プロジェクトルーム(共同研究棟A212)」および筑波大学学内未活用施設でのオンライン併用型演習・作業(オンラインの場合には、Microsoft TEAMS/STREAMを使用)。および学外演習(東京都・茨城県や市区行政、東京都荒川区・台東区および茨城県つくば市近郊の未活用遺産サイト等)英語で授業。</p>	Global Project: Designing Heritage Research

### 国際遺産学

OATV201	Heritage Theory and Policy Studies (国際遺産論)	1	1.0	1・2	秋A	集中	人社 B218	吉田 正人, 飯田 義彦, 池田 真利子	歴史、哲学、公共政策など現代社会における遺産保護を体系的にとらえて講述する。世界遺産条約などの国際的な条約から各国の保護政策まで取り上げる。	本年度開講せず	Heritage Theory and Policy Studies
OATV202	UNESCO and the World Heritage Convention (ユネスコと世界遺産条約)	1	1.0	1・2	秋A	集中		上北 恭史, 飯田 義彦, 池田 真利子	As the most influential instrument in the international heritage field, the UNESCO World Heritage Convention has been providing an important instructive framework to the member countries, from actual protection and conservation of individual heritage sites to the development of national heritage policies and administrations of countries. Encompassing history, philosophy and operational schemes, the lecture provides an overall picture of the international discussions developed in and around the World Heritage Convention.	非常勤講師: 稲葉信子 10/14-10/15	UNESCO and the World Heritage Convention
OATV203	World Heritage and International Cooperation (世界遺産と国際協力)	1	1.0	1・2	春BC	集中		飯田 義彦, 吉田 正人, 池田 真利子	世界文化遺産・世界自然遺産に関わる国際協力の事例をもとに、文化遺産・自然遺産の保全に関わる国際的枠組みの成果と課題を学ぶ。合わせて、日本の国際協力に関する枠組みについても取り上げる。	非常勤講師: 長岡正哲(ユネスコ) 外部講師: 長谷川基裕(JICA) 英語で授業。 6/24, 7/12, 7/19	World Heritage and International Cooperation
OATV204	World Heritage and Civil Participation (世界遺産と市民参加)	1	1.0	1・2	秋AB	火5		池田 真利子	本講義では、1現在の世界遺産が直面する課題を的確に知り、2その背景にある地域の実情を多角的かつ分野横断的にみること、さらに3世界遺産の維持のために必要不可欠とされている市民参加の在り方を、世界遺産に限定せず、広くヨーロッパの遺産保存の在り方から探ること、4世界遺産の多様化、SEUIにおける最新の文化遺産を巡る動向を理解することを通じて、世界遺産における市民参加がどのようにして実現され得るのかを考えることを目標とする。	オンライン(同時双方向型)。対面	World Heritage and Civil Participation
OATV205	World Heritage and Sustainability (世界遺産と持続可能性)	1	1.0	1・2	秋C	集中		飯田 義彦	持続可能性概念について様々な保全制度と地域実践事例から学ぶ。自然と文化の遺産管理において、持続可能性概念や国連の持続可能な開発目標(SDGs)をいかに結びつけて社会実装を進めるか。その上で、持続可能な社会づくりに向けたグローバルとローカルの協働のあり方と将来方策についての自身の考えを深める。	英語で授業。	World Heritage and Sustainability



科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	英語(日本語)科目名
OATV206	Role of International Organizations and NGOs (国際機関の役割)		1	1.0	1・2	秋C	水5, 6	池田 真利子, 吉田 正人, 飯田 義彦	Students of Master and Doctoral degree programs will learn, how heritage and identity-related in the modern "global world", by knowing the recent national, regional, and local context, not only in Western European countries (such as Germany or Italy) but also in Eastern European countries (such as in former Eastern Germany) as well as in the global South (such as India). In the field of heritage preservation, practices rooted in civic engagement had much dedicated due to specific regional and political contexts, especially since the 1980s. Although, pragmatic academic discourses tend to ignore the national or regional context and conflicts emerged along with "Heritization(遺産化, isan-ka)" or "Institutionalisation(組織化, soshiki-ka)". This lecture will be assisted by Prof. Dr. Leo Schmidt, who has over thirty years developed the discipline of heritage studies base on practical, theoretical as well as academic views, to extend the further academic discussions online.	英語で授業。 オンライン(同時双方向型)。対面	Role of International Organizations and NGOs
OATV207	International Conventions for Heritage Conservation (国際条約論)		1	1.0	1・2	春B	集中	吉田 正人, 飯田 義彦, 池田 真利子	この授業では、地球環境の保全、遺産の保護と開発に関する国際条約と、世界中の様々な国々の事例研究を通じて、急速に変化する社会において、どのように遺産と共存し、環境を保全するとともに、持続的な社会を実現するかを学ぶ。	非常勤講師：堀江正彦、外部講師：鈴木渉 英語で授業。 6/12, 6/17	International Conventions for Heritage Conservation
OATV208	Project Practice in World Heritage (世界遺産演習)		2	2.0	1・2	春C	集中	飯田 義彦, 吉田 正人, 池田 真利子	国内外におけるフィールド実習を通じて、遺産保護と持続可能な開発のバランスを取るための方策について、現地の関係者の取組や国際的な視点の双方から学ぶ。	現地実習(石川県白山市) 英語で授業。 8/1-8/7	Project Practice in World Heritage
OATV209	Advanced Practice of Heritage Studies (市民参加研究演習)		7	3.0	1・2				本演習は「World Heritage and Civil Participation(世界遺産と市民参加)」で学んだ国内外の学術的視点や知識に基づき、海外(主としてドイツ等の西ヨーロッパ)や国内のフィールドを実際に訪れ、より実践的に研究方法を習得することを目的とする。本科目のねらいは、OATV204「World Heritage and Civil Participation(世界遺産と市民参加)」で学んだ研究視点や各年設定のテーマに関連し、その研究方法やデータ取得方法を大学/現地フィールドで具体的かつ実践的に学ぶことである。学生は地域調査の基礎を学ぶだけでなく、自ら主体的にフィールド調査に取り組む経験を得ることができる。また、海外フィールド調査において、「自分が知りたいこと」の情報を得るため、英語やその他の国の言語能力を使用することで、国際的な学術議論を無理なく行うことができるようになる。 なお2021年度は初年度であり、かつコロナの状況により、海外フィールド調査が困難な場合、グループで日本国内およびオンライン調査を行う予定である。なお本科目では、専用のタブレット端末・録画機器を最大限活用したグループ学習を行います。	西暦奇数年度開講。 英語で授業。 オンライン(同時双方向型)。対面	Advanced Practice of Heritage Studies

遺産の評価と保存分野

OATV301	建築遺産論		1	1.0	1・2	秋AB	木2	人社 B218 下田 一太	多様な歴史的背景や環境条件、意匠的特徴や利用可能な材料の特性に根差した建築遺産の理解、分析、調査、記述の方法と視覚化、評価の方法を学び、そうした歴史的建造物の意義や価値を保存・継承するための修理や復元の理念と技術、それらを伝達するための整備や再生の幅広い手法や技術について、国内外の世界文化遺産を含む建築遺産を事例として理解する。授業を通じて、各自が関心を有する建築遺産に対して、必要とされる調査を実践的に適用するための知識を習得し、保存や活用のための具体的な提案ができるようになることを到達目標とする。	新型コロナウイルスの感染状況に応じて、対面かオンライン(オンデマンド型)かを選択する。	Architectural Heritage
---------	-------	--	---	-----	-----	-----	----	------------------	--	---	------------------------

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	英語(日本語)科目名
OATV302	建築遺産演習	2	3.0	1・2	秋AB	集中		下田 一太	建築遺産や周辺環境、建築と人との関係性を測量、記録し、図面化する手法について実践を通じて学ぶ。また、それらの記録や各種表現を、建築遺産やその地域の保存や活用のために利用し、提案を関係者に共有し議論する一連の過程を経験する。それらの過程において、建築遺産の研究や修復、活用における幅広い課題を理解し、建築の構造や意匠、技法の特質、建築空間の利用方法等を調査・分析する能力を養う。多様な専門的知識や技術を横断的に連携し、取り組む必要のある建築遺産の保存と活用の体験を通じて、多様な関係者と協働し、建築遺産の保護と活用に寄与することができるようにする。	学外の建築遺産にて対面で実施	Seminar on Architectural Heritage
OATV303	美術遺産論I	1	1.0	1・2	春AB	火3	人社 B218	八木 春生	講義形式(学内)。中国で世界遺産に認定された雲岡石窟や龍門石窟、また敦煌莫高窟などを対象とする。この授業では、その中でも北魏時代(439年から534年)に開かれた石窟を取り上げる。窟形式や造像の様式、形式、また文様などの要素を様々な角度から分析し、それを総合的に考察することで評価を行う。それぞれの石窟がいかなる目的のために、またいかなる人々のために開かれたか、そのためにいかなる工夫がなされたかを明らかにする。そしてこの作業から抽出される、それぞれの石窟の特殊性に基づき、それに適した石窟の保存を考える能力を養成する。これにより、中国北魏時代の代表的な石窟に関する基礎的な知識を有し、その評価を基盤として活用など保護の方法を自らの研究と関連してできるようになる。	オンライン(オンデマンド型)、対面	Art Heritage I
OATV304	美術遺産論II	1	1.0	1・2	秋AB	火3	人社 B218	八木 春生	講義形式(学内)。中国で世界遺産に認定された敦煌莫高窟、龍門石窟などの、唐時代前期(618年から665年)に開かれた石窟を取り上げる。窟形式や造像の様式、形式、また文様などの要素を様々な角度から分析し、それを総合的に考察することで、これらの石窟の評価を行う。敦煌莫高窟唐前期諸窟や、龍門石窟唐前期諸窟のほとんどは、北魏時代に国家により開かれた雲岡石窟と異なり、民間による造窟である。浄土教が流行したこの時期に、人々がいかなる目的を持って造窟し、またそれらの人々の要求を満足させるためにどのような工夫がなされたかを考察する。そしてこの作業から抽出される、それぞれの石窟の特殊性に基づき、それに適した石窟の保存を考える能力を養成する。これにより、唐時代前期の代表的な石窟に関する基礎的な知識を有し、その評価を基盤として活用など保護の方法を自らの研究と関連してできるようになる。	オンライン(オンデマンド型)、対面	Art Heritage II
OATV305	美術遺産演習	2	2.0	1・2	秋B	集中		八木 春生	演習(学外)。大阪市立美術館や東京国立博物館など、中国の仏教造像や陶磁器などを多く所蔵する美術館、博物館で、学芸員から説明を受けながら、作品を様々な角度から観察することを体験する。それにより、斜め上、あるいは下方、また側面からでは、正面から見たのとは異なる印象を持つことを体感し、写真ではなく実物を見ることの重要性を理解できるようになる。また作品の基本的な取り扱い方を学び、実際に作品に触れることで、目でみるだけでは理解できない情報を作品から得る方法を習得する。このような経験から、それらの作品を作った工人たちが、どのような角度で見られることや手取りを意識していたかを考えられるようになる。そして美術作品の時代性だけでなく、工人達の意図をより正しく理解できるようにする。	対面	Seminar on Art Heritage

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	英語(日本語)科目名	
OATV306	保存科学概論		1	1.0	1・2	春AB	火5	人社 B218	松井 敏也	保存科学の沿革・保存科学技術のあり方・研究方法を論じ、保存修復事例をもとに文化財を取り巻く保存環境・劣化現象の解明、その保存対策の手法について解説する。それにより、遺産や美術品の劣化や損傷し、その診断手法の確立、ならびに診断結果に対する総合的評価を立地環境と担当者からのスキルなどと併せて考慮する視野を構築することを目指す。実践的処置技術については今後の社会及び環境変動を見据えた課題の抽出とその解決法を科学的に行う能力を習得する。	オンライン(オンデマンド型)、対面	Conservation Science
OATV307	保存科学演習		2	2.0	1・2	春C秋A	集中		松井 敏也	保存対象の活用状況や管理状態、地域の関わり方の調査から得られる課題を整理し、対象文化財の保存科学的調査を実施する。保存科学研究の基本である、材質分析・構造調査・保存環境の調査方法について、調査機器を用いての現地研修により習得させ、その分析、評価を関連分野の研究成果等と併せて総合的に考究させることを目指す。また世界遺産をはじめとする遺跡や博物館において、専門家による指導助言を受けながら現場レベルの保存科学実務を学び、習得した技術や能力をさらに発展させる。	対面	Seminar on Conservation Science

### 遺産のマネージメントとプランニング分野

OATV401	遺産整備計画論		1	1.0	1・2	春A	月4,5	人社 B218	上北 恭史	遺産の歴史的価値を評価し、遺産の保存手法、環境整備等について論じ、社会的保護制度や遺跡、建造物の保存手法、地域再生事業などの活用計画について考究する。教育の目標として、文化遺産を中心に、保護制度と遺産価値の理解を通して適切な保護の方法と利活用の手法について計画し、事業を遂行するための基本的考え方を学ぶ。授業の到達目標として、遺産保護制度の法令の理解および保護計画事例を把握し、遺産の持つ歴史的・社会的価値を評価する能力、需要に適した活用方法の提案ができる能力を身につける。また遺産の復元の問題や国際協力事例について事例を基に議論し、遺産を活かした地域再生について対応できる人材の育成を重視する。	オンライン(同時双方向型)、対面	Project Development and Management of Heritage Sites
OATV402	遺産整備計画演習		2	2.0	1・2	春AB	集中		上北 恭史	遺跡や歴史保存地区などで実施されている遺産保護・活用事例に触れ、保存事業や地域再生、観光事業について考察を行い、遺産の保護と活用計画の立案について習得する。授業目標として、遺跡や歴史保存地区で行われている保存活動の実例について学び、保存や再生、活用方法について詳しく考察を行う。さらに遺産整備計画を立案できる能力をつける。到達目標として、遺産保存の実例に触れ、法律、条例、保存計画書の保存制度を手がかりに遺産保護の具体的な手法について分析できる確認する。また保護されている遺産の状況を分析し、保護における問題点や利用の手法を提案できる能力をレポート等で確認する。	4/15, 4/22, 5/13, 5/20, 5/27, 6/3	Seminar on Project Development and Management of Heritage Sites
OATV403	文化的景観論		1	1.0	1・2	春AB	火4	人社 B218	黒田 乃生	遺産としては比較的新しい概念である文化的景観について、景観の概念の変遷、世界遺産における文化的景観をめぐる議論と現状、日本の文化財における文化的景観の定義と保護、景観と社会の関係などの基礎的な知識の習得に加え文化的景観の評価および保全に関する事例を紹介する。講義全体を通じて他の文化遺産と文化的景観の特徴の異同を考究するための緒を与え、保全や概念について国内外の相違を紹介し、履修生とのディスカッションを通じて文化的景観の曖昧さや保護の課題について自ら考えることができるようにする。	オンライン(同時双方向型)、対面	Conservation of Cultural Landscape

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	英語(日本語)科目名
OATV404	遺産観光論	1	1.0	1・2	秋AB	月4	人社B218	伊藤 弘	観光に関する用語や意義、歴史的かつ現状の課題および計画論等に関して概説を行うと同時に、観光の対象となる文化資源や自然環境について、世界遺産や指定文化財、自然公園など制度上の評価に捉われない評価の考え方を整理する。利用と保護が持続的に同時に求められる、自然および文化を活かし続ける観光のあり方や取り組み手法、それに基づく観光地整備の考え方について、具体の事例を取り上げながら、その効果と課題を踏まえて考察する。	対面	Heritage Tourism
OATV405	プランニング演習	2	3.0	1・2	春C夏季休業中 秋AB	集中		伊藤 弘	自然および文化を、住民および来訪者がより深く理解できるような持続的な利活用方策に関して、特定の資源を対象に、広域的な周辺環境および対象資源について、課題の整理からテーマの設定、計画案の策定に至る一連の作業をグループワークを通して体験し、計画の考え方や作業の流れ、評価方法を理解する。また、毎回進捗報告会を実施することで、各自の考え方や主張を他者に分かりやすく伝えるプレゼンテーションのやり方と、計画案に関するディスカッションを体験する。	白川郷・五箇山	Seminar for Resource Use Planning
OATV406	インタープリテーション概論	1	1.0	1・2	秋A	集中		武 正憲	インタープリテーションおよびエコツーリズムの歴史・期待される効果・実施上の注意点や課題について理論的な概要を学習する。自然遺産および文化遺産の価値を利用者にどのように伝えるのか、その技術や伝えるべき対象の価値の捉え方について、実際の事例を体験することを通じて考察する。教育目標は自然遺産・文化遺産の価値をとらえ、それを伝える技術を理解し、遺産の利活用と保全におけるインタープリター(エコツアーガイド)の果たす役割を理解することである。 授業目標の到達目標は、インタープリテーション・プログラムを提案できるような能力を身に付けることであり、その習得度はプレゼンテーションやレポート課題によって確認する。	講義：オンライン(オンデマンド型と同時双方向型の併用) 現地視察：(埼玉県飯能市)：対面 講義・現地視察は日本語(簡単な英語サポート有) 講義：10月5日、現地演習(埼玉県飯能市)：10月7-8日 02JZ023と同一。 10/5,10/7-10/8 オンライン(オンデマンド型)、オンライン(同時双方向型)、対面	Heritage Interpretation

### 専門基礎科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	英語(日本語)科目名
OAS0306	世界遺産を科学する	1	1.0	1・2	秋AB	火1	人社B218	黒田 乃生, 飯田 義彦, 池田 真利子, 伊藤 弘, 上北 恭史, 下田 一太, 武 正憲, 松井 敏也, 八木 春生, 吉田 正人	世界遺産保護における課題と解決方法を自然科学、人文社会科学の視点から講述する。美術史、政策、観光、保存科学、景観保護、自然保護など世界遺産を対象に多様な切り口から知識と総合的な視座を獲得する。同時に国内外の世界遺産における国際協力の事例と手法を学ぶ。	対面 希望者はオンライン受講可能	Investigating World Heritage
0A00103	研究倫理	4	1.0	1 - 5	春BC	随時		岡林 浩嗣, 大須賀 壮	研究活動に従事する上で踏まえるべき研究倫理の基礎を、具体的事例を交えて講義する。研究不正(FFP)、研究費の不正使用、その他のコンプライアンスなどを取り上げる。また、これらを理解するための前提となる、科学技術政策、研究助成のしくみ、申請や審査のしくみなどについても触れる。 本科目は講義を主体としつつ、講義の間に演習(個別演習・グループ演習)を交互に挟む構成とする。講義においては、研究倫理と研究公正に関連する基本概念を整理すると共に、研究不正(FFP)、研究費の不正使用、その他のコンプライアンスに関わる問題などを取り上げる。また、これらを理解するための前提となる、学術研究活動をとりまく環境の変化や、科学研究費の申請や審査のしくみなどについても触れる。特に特定不正行為に関しては具体的事例を元にその原因や背景を解説し、受講者が研究活動を行う上で必要な対策について具体的に考える機会を与える。	オンライン(オンデマンド型)	Introduction to Academic Integrity

## 5. 時間割

### ■授業時間

第1時限	8:40	—	9:55
第2時限	10:10	—	11:25
第3時限	12:15	—	13:30
第4時限	13:45	—	15:00
第5時限	15:15	—	16:30
第6時限	16:45	—	18:00

### ■休業期間

春季休業	4月1日	—	4月4日
夏季休業	8月11日	—	9月30日
冬季休業	12月29日	—	1月5日
春季休業	2月17日	—	3月31日

### ■「随時」「応談」の科目等

#### 必修科目（随時）

- 世界遺産特別演習（ゼミ、1年次）・・・・・・・・・・学位プログラム全教員
- 世界遺産特別研究（修士論文、2年次）・・・・・・・・・・学位プログラム全教員

#### 選択科目（応談）

- 世界遺産学インターンシップ・・・・・・・・・・学位プログラム専任教員

春学期 4月13日～8月9日

【春A】(4月13日～5月23日)

	月	火	水	木	金
1				自然遺産論 吉田 B218 セミナー室(大)	(演習等)
2			世界遺産論 学位プログラム教員 B218 セミナー室(大)		
3		美術遺産論 I 八木 B218 セミナー室(大)		文化遺産論 下田 B218 セミナー室(大)	
4	遺産整備計画論 上北 B218 セミナー室(大)	文化的景観論 黒田 B218 セミナー室(大)			
5		保存科学概論 松井 B218 セミナー室(大)			

【春B】(5月25日～6月28日)

	月	火	水	木	金
1					(演習等)
2			世界遺産論 学位プログラム教員 B218 セミナー室(大)		
3		美術遺産論 I 八木 B218 セミナー室(大)		文化遺産論 下田 B218 セミナー室(大)	
4		文化的景観論 黒田 B218 セミナー室(大)			
5	Global Learning: Heritage, Creativity and Art (グローバル に学ぶヘリテージ, 創造性とアート) オンライン MS Teams (春 BC)	保存科学概論 松井 B218 セミナー室(大)			

【春BC】(5月25日～8月9日)

月5限 Global Learning: Heritage, Creativity and Art (グローバルに学ぶヘリテージ, 創造性とアート)  
オンライン MS Teams

**【春学期・夏季休業中 集中講義】（※春 C 7月6日～8月9日）**

春 AB	遺産整備計画演習(上北)
春 B	(自然保護論(吉田)6月4-5日) * 自然保護寄附講座の科目
	International Conventions for Heritage Conservation(国際条約論) 吉田・飯田・池田 [外部講師: 堀江正彦氏, 鈴木渉氏] 6/12(日), 6/17(金)
	World Heritage and International Cooperation(担当: 飯田) 春 BC 6/24(長谷川基裕氏)・7/12・7/19(長岡正哲氏)
春 ABC	International Conventions for Heritage Conservation(吉田)
春 BC 随時	研究倫理 (大学院共通科目)
春 BC 集中	World Heritage and International Cooperation(飯田・非常勤講師)
春 C	Project Practice in World Heritage(世界遺産演習)(飯田)8月1日～7日
通年	Global Project: Designing Heritage Research (グローバルの考究するヘリテージ研究デザイン)(池田・上北・松井)
夏季休業中	文化遺産演習(黒田)
	自然遺産演習(吉田・武)8月27日～9月1日
	保存科学演習(松井)
夏季休業中+秋 AB	プランニング演習(伊藤)

秋学期 10月3日～2月14日

【秋A】(10月3日～11月9日)

	月	火	水	木	金
1		世界遺産を 科学する 学位プログラム教員 オンライン MS Teams			(演習等)
2				建築遺産論 下田 B218 セミナー室(大)	
3		美術遺産論Ⅱ 八木 5C402			
4	遺産観光論 伊藤 B218 セミナー室(大)				
5		World Heritage and Civil Participation 池田 B218 セミナー室(大)			

【秋B】(11月11日～12月21日)

	月	火	水	木	金
1		世界遺産を 科学する 学位プログラム教員 オンライン MS Teams			(演習等)
2				建築遺産論 下田 B218 セミナー室(大)	
3		美術遺産論Ⅱ 八木 5C402			
4	遺産観光論 伊藤 B218 セミナー室(大)				
5		World Heritage and Civil Participation 池田 B218 セミナー室(大)			

【秋C】(1月6日～2月14日)

火3・4限 宗教論(松井圭介) B218 セミナー室(大)

水5・6限 Role of International Organizations and NGOs(国際機関の役割)

(池田・吉田・飯田 [外部講師: Prof. Emer. Leo Schmidt] )



**【秋学期 集中講義】**

秋 A	インタープリテーション概論(武)
	UNESCO and the World Heritage Convention (ユネスコと世界遺産条約(稲葉信子)10月14-15日)
秋 AB	美術遺産演習(八木)
秋 ABC	建築遺産演習(下田)
秋 B	遺産保護行政論(下田・非常勤講師)
秋 BC	無形遺産論(宮田繁幸氏(元文化庁調査官)・担当:池田)
秋 C	Role of International Organizations and NGOs(池田・吉田・飯田)
	World Heritage and Sustainability(世界遺産と持続可能性)(飯田)

## 6. 学外の演習・集中講義等 (● : 学外)

### (1) 世界遺産論

対面で実施しますがオンライン受講も可能です。

授業の方法を変更することがあります。その場合は事前に manaba 経由またはメールリストに連絡しますので確認してください。

月	日	曜日	内容	担当
4	6	水	教員自己紹介・演習ガイダンス	全員
	13	水	学生自己紹介	全員
	20	水	学生自己紹介	全員
	27	水	●見学（自由参加）シャトーカミヤ（案）	松井
5	11	水	講義（国際遺産学）	吉田、池田、飯田
	18	水	講義（遺産の評価と保存）	八木、松井、下田
	25	水	講義（遺産のマネジメントとプランニング）	上北、伊藤、黒田、武
6	1	水	協力教員紹介	松井（圭）野中、滝沢
	8	水	テーマ発表	全員
	15	水	テーマ発表	全員

### (2) 遺産整備計画演習 上北 (TA : Fanitra)

	日	時間	場所	担当	内容
	4月15日(金)	10:00~ 12:00	B218	上北	土浦古地区による探索説明
●	4月22日(金)	逐次連絡	土浦市	上北	土浦亀城地区見学
●	5月13日(金)	逐次連絡	つくば市	上北	筑波山麓小田城跡、平沢官衙遺跡
	5月20日(金)	逐次連絡	B218	大平茂男先生	歴史的建造物の活用の講義
●	5月27日(金)	逐次連絡	川越	大平茂男先生	川越重伝建地区における歴史的建造物の保存事例の見学
●	6月3日(金)	逐次連絡	佐原	上北	佐原重伝建地区における活用事例の見学

\* 費用：交通費等

### (3) 自然遺産演習 吉田・武 (TF : 姚喬馨)

	日程	場所	費用 その他
●	8月27日(土)~9月1日(木)	小笠原諸島父島	交通費・宿泊費 約7万円

**(4) 美術遺産演習 八木 (TA : 内田昌太郎)**

	日程	場所	費用 その他
●	10月 (未定)	東京 美術館	交通費・宿泊費

**(5) 保存科学演習 松井 (TA : 深見利佐子)**

	日程	場所 (候補)	費用 その他
●	8月～10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筑波大学附属図書館(1日)</li> <li>・東京湾要塞遺跡(現地1日)</li> <li>・旧富岡製糸場(現地1日)</li> <li>・牛久シャトー (現地1日)</li> <li>・都内博物館、美術館 (現地1日)</li> </ul>	交通費・ 宿泊費

**(6) プランニング演習 伊藤 (TA : 李 恒昇)**

	日	時間	場所	費用 その他
	7月22日(金)	13:00-	B218	ガイダンス
●	9月中旬予定	(予定)	白川郷・ 五箇山	宿泊費・食費 (別途現地までの交通費)
	10月3日(月) 10月17日(月) 10月31日(月) 11月14日(月) 12月5日(月) 12月19日(月)	5限以降	B218	-

**(7) 文化遺産演習 黒田 (TA : 未定)**

	日程	場所	費用 その他
	7月5日(火) 4限	B218	ガイダンス
●	未定 (決定次第連絡)	白川郷・ 五箇山	宿泊費・食費 約3万円 (現地までの交通費別)

\*感染拡大の状況によって変更する可能性があります

**(8) インタープリテーション概論 武 (TA : )**

	日程	場所	費用 その他
	10月6日(水) 10:00-16:30	B218	ガイダンス・講義
●	10月8日(金)～9日(土) ※日程が変更になる場合があります。	埼玉県 飯能市	宿泊費・食費 (昼夜朝昼)・ガイド 料を含め、1万円程度 (飯能駅まで の交通費は別)

(9) 遺産保護行政論 鈴木地平（文化庁世界遺産室）（TA：趙 逸塵）

	日程	場所	費用 その他
●	2日間（10月～12月に予定）	オンライン （検討中）	交通費・昼食代（オンラインの場合には不要）

(10) 建築遺産演習 下田（TA：趙 逸塵）

	日程	場所・内容	費用 その他
●	11月中～12月（日帰り：主に金か土曜日）	つくば近郊もしくは都内にて歴史的建造物における実習計3日程度と学内での準備と成果のまとめ・発表に数日*但し、新型コロナウイルスの感染拡大の状況によって、国内遠方での演習も検討する	現地までの交通費

(11) Project Practice in World Heritage 飯田・池田・吉田、TA：袁星雅

	日程	場所	費用 その他
●	8月1日(月)～8月7日(日)	白山国立公園，白山ユネスコエコパーク，白山手取川ジオパーク	交通費・宿泊費等

(12) Global Project: Designing Heritage Research

（グローバルに考究するヘリテージ研究デザイン）池田・上北・松井（TA：3名）

	日程	場所	費用 その他
●	通年	東京都荒川区および台東区，茨城県内ほか	現地までの交通費

## 7. 全学・他学術院の開設科目について

※掲載する科目表は2022年3月10日現在の情報です。

各科目の授業概要，シラバスはKdB（教育課程編成支援システム）から閲覧できます。

<https://www.tsukuba.ac.jp/education/g-courses-g-tsukuba-tokyo/index.html>

大学院共通科目

<https://www.tsukuba.ac.jp/education/g-courses-kyoutsuukamoku/index.html>

例：研究倫理（0A00103）                      1単位 春 BC 随時

## 8. 世界遺産学インターンシップ

### (1) 事前準備

- ① インターンに行く場合には必ず事前に指導教員に相談してください。
- ② 受け入れ先によっては正式な契約書、誓約書などが必要となります。紹介者から確認してもらい、必要な場合は指導教員まで申し出てください。
- ③ インターンに行く前に学生保険に入ってください。（保険に関しては体芸支援室の学生支援係にお問い合わせください。）
- ④ 先方担当者に評価書（書式 2）を記入・提出していただくこととなりますので、あらかじめ記入書式があることを伝えてください。

### (2) インターン中

- ① 世界遺産学インターンシップ報告書（書式 1）に必要事項を自分で記入し、担当者のサインをもらってください。
- ② インターンが終わったら、担当者に世界遺産学インターンシップ評価書及び修了証明書（書式 2）に総合評価（A～D）と所見の記入、修了証明のサインを頂いてください。

### (3) 修了後

指導教員、紹介教員に報告し、報告書（書式 1）と評価書（書式 2）をカリキュラム担当教員まで提出してください。

### (4) これまでの受け入れ先、紹介者例

（そのほかにも様々な機関でインターンをしています。詳細はカリキュラム担当教員まで。）

受け入れ先	内容	紹介者
ユネスコアジア文化センター文化遺産保護協力事務所	アジア太平洋地域を対象とした文化遺産の保護・調査・修復の研修における補佐	平成 17 年度から引継ぎ
Bangkok UNESCO 事務所	ユネスコ文化遺産プログラムの業務補助	上北
TBS テレビ	TBS「世界遺産」番組制作現場を学ぶ	上北
白川村（社）ホワイエ	中長期滞在による観光、景観保全の活動	黒田
野外博物館 合掌造り民家園	企画展示、運営業務	黒田
（公財）日本交通公社	観光関係データベース作成等	伊藤
東京国立博物館	保存環境、保存修復に関する業務補助	松井
（株）JTB 総合研究所	観光コンサルティングの調査補助業務	池田
Studio Gross	市民コンサルティングの補助業務	池田

筑波大学大学院人間総合科学学術院人間総合科学研究群世界遺産学学位プログラム  
(博士前期課程)

### 世界遺産学インターンシップ報告書

プログラム指導担当者の検印
⑩

学生氏名	筑波大学大学院人間総合科学学術院人間総合科学研究群世界遺産学 学位プログラム（博士前期課程） 学籍番号 氏名
担当教員	氏名
受入機関名	
期 間	令和 年 月 日 — 月 日
受入機関指導責任者	部署名 氏名
プログラムテーマ	
スケジュール	プログラム内容（概要）
月 日	

筑波大学大学院人間総合科学学術院人間総合科学研究群世界遺産学学位プログラム  
(博士前期課程)

世界遺産学インターンシップ評価書及び修了証明書

受入機関名			
実習期間	令和	年	月 日 — 月 日
学生氏名			
総合評価		A 100～80点 B 79～70点 C 69～60点 D 59点以下	
所見			
インターンシップ制度の改善点・大学への要望など			

上記のとおり世界遺産学インターンシップを修了したことを証明します。

令和 年 月 日

プログラム指導担当者

氏名 \_\_\_\_\_ (印)



# 世界遺産学学位プログラム（博士後期課程）

## 1. 履修方法

### 【履修方法・修了要件】

科目区分	科目群	条件又は科目名等	修得単位数
専門科目	必修科目	世界遺産学特別研究 上記のほか学術院共通専門基盤科目、 大学院共通科目の履修を推奨する。	3
		修了単位数	3

（修了要件）

3年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履修により所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。~~ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、当該課程に1年（修士課程早期修了者等にあつては当該課程における在学期間を含めて3年）以上在学すれば足りるものとする。~~

## 2. 履修申請の注意事項

- ・履修申請は申請期間中に TWINS を利用して行ってください。

履修申請を忘れた場合は TWINS から追加履修申請書を出し、体育芸術エリア支援室の大学院教務担当まで提出してください。追加履修申請書には授業担当教員、指導教員、専攻長の3名の署名捺印が必要となりますので注意してください。

### 3. 授業一覧

#### 【専門科目】

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	英語(日本語)科目名
OBTY001	世界遺産学特別研究		3.0	1-3	通年	随時		飯田 善彦, 池田 真利子, 伊藤 弘, 上北 基史, 黒田 乃生, 下田 一太, 舘沢 誠, 武 正 憲, 野中 勝利, 松井 圭介, 松井 敏也, 八木 春生	世界遺産ならびに関連する国際的・国内的な文化遺産・自然遺産の保全制度の比較研究を通じて、研究者としての能力を養う。既往研究に基づいた問題設定、適切な研究・分析の方法、研究倫理をふまえた論文執筆など、世界遺産学を担う研究者にふさわしい能力を身につける。	オンライン(同時双方向型)、対面 ※オンライン、対面を併用して随時研究指導を行う	Advanced Research in World Heritage Studies

#### 【基盤科目】

科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	英語(日本語)科目名
世界遺産を科学する		1.0	1-2	秋AB	火1	人社 B218	黒田 乃生, 飯田 善彦, 池田 真利子, 伊藤 弘, 上北 基史, 下田 一太, 武 正 憲, 松井 敏也, 八木 春生, 吉田 正人	世界遺産保護における課題と解決方法を自然科学、人文社会科学の視点から講述する。美術史、政策、観光、保存科学、景観保護、自然保護など世界遺産を対象に多様な切り口から知識と総合的な視座を養育する。同時に国内外の世界遺産における国際協力の事例と手法を学ぶ。	対面 希望者はオンライン受講可能	Investigating World Heritage
研究倫理		1.0	1-5	春BC	随時		岡林 浩嗣, 大須 晋 壮	研究活動に従事する上で踏まえるべき研究倫理の基礎を、具体的事例を交えて講義する。研究不正(FFP)、研究費の不正使用、その他のコンプライアンスなどを取り上げる。また、これらを理解するための前提となる、科学技術政策、研究助成のしくみ、申請や審査のしくみなどについても触れる。 本科目は講義を主体としつつ、講義の間に演習(個別演習・グループ演習)を交互に挟み構成とする。講義においては、研究倫理と研究公正に関連する基本概念を整理すると共に、研究不正(FFP)、研究費の不正使用、その他のコンプライアンスに関わる問題などを取り上げる。また、これらを理解するための前提となる、学術研究活動をとりまく環境の変化や、学術研究費の申請や審査のしくみなどについても触れる。特に特定不正行為に関しては具体的事例を元にその原因や背景を解説し、受講者が研究活動を行う上で必要な対策について具体的に考える機会を与える。	オンライン(オンデマンド型)	Introduction to Academic Integrity

---

2022年4月

発行：筑波大学大学院人間総合科学学術院人間総合科学研究群世界遺産学学位プログラム（博士前期課程）

筑波大学大学院人間総合科学学術院人間総合科学研究群世界遺産学学位プログラム（博士後期課程）